

「せん妄」をご存じですか？



せん妄とは

病気の影響や入院などによる環境変化で脳が上手く働かなくなり、意識がくもる(意識障害)ことで、話す言葉やふるまいに一時的に混乱が見られる状態です。



認知症とは違います

せん妄になった方をみて、「認知症になった」と思う方がおられますが、認知症とせん妄は全く違うものです。もともと認知症の方がなりやすいということはありませんが、認知症ではない方や若い方でもなることがあります。認知症とせん妄の違いは以下のようなものがあります。

特徴	せん妄	認知症
意識障害	あり	なし
発症時期	急に発症する 発症時期がわかる	ゆるやかに発症する 発症時期はわからないことが多い
症状の変動	夕方から夜間に悪化することが多い	変動は少ない
症状の持続	一時的なもの 数日から数週間程度(まれに長引く人もいる)	ずっと続く ゆっくり進行していく

せん妄の原因

◆もともと持っている因子(準備因子)

- ・高齢(70歳以上)・脳の病気をお持ちの方・認知症がある方・お酒を普段からたくさん飲む方
- ・過去にせん妄になったことがある方・睡眠薬や痛み止めの麻薬を服用している方など

◆助長する因子(誘発因子)

- ・入院、入所など環境変化・心配事やストレス・痛み・睡眠障害・治療に必要なチューブ類・身体拘束など

◆そのものが影響する因子(直接因子)

- ・薬の影響・代謝や電解質の異常・感染症・負担の大きい手術・低酸素状態・お酒や薬物の離脱症状
- ・新たな病気の発症など

入院、施設入所など環境が変わるときの対策

◆周囲の状況が理解しやすい環境作り

- ・カレンダーや時計を準備し見えるところに設置・普段使っている眼鏡や補聴器の使用
- ・日時、場所、人の情報を会話におりませる

◆良質な睡眠確保

- ・日光を浴びたりベッドから離れる時間を設ける・夜間のケアは状況に合わせて減らす工夫をする

◆安心できる環境作り

- ・馴染みのある物を準備してもらう(枕、小物、家族やペットの写真など)
- ・必要な説明は、はっきり簡潔に、優しく丁寧に・視線を合わせ笑顔で対応

